



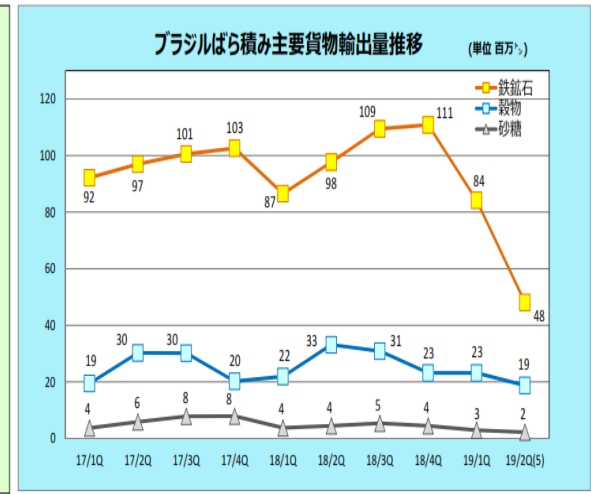
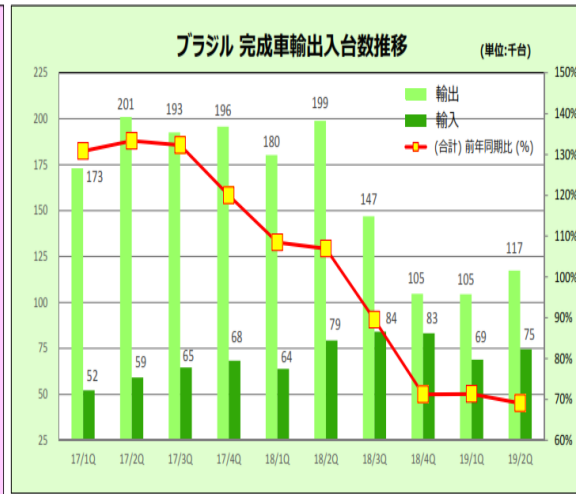
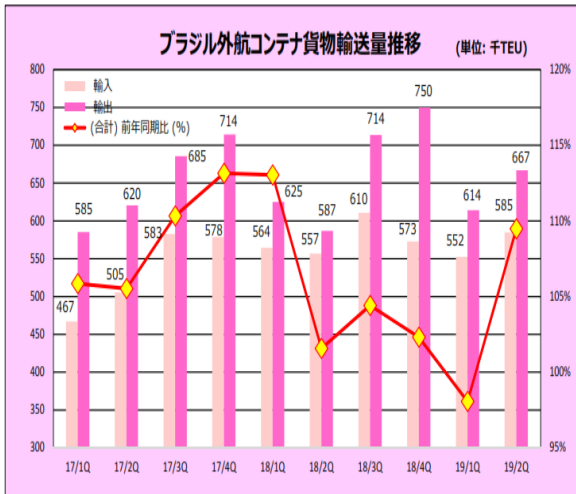
## 海運

# 2019年上期回顧

- ◆ コンテナ輸送は、2019年は新造船の供給量が少なく需給バランス改善で市況は若干回復傾向。主要コンテナ船社のアライアンス再編も一段落、邦船3社(日本郵船、商船三井、川崎汽船)のコンテナ統合会社ONE(Ocean Network Express)は生き残りをかけて運航の安定化とサービスの拡充に努めた。
- ◆ 完成車輸送は、輸出が前年同期比▲42%と急減。主要輸出先の亜国の経済危機が大きく影響。
- ◆ ドライバル(ばら積み)輸送は、特に1Qがヴァーレ社の鉱山ダム決壊によるブラジル鉄鉱石輸出の急減、豪州鉄鉱石輸出もサイクロンの影響で落ち込み大型船の需給バランスが大きく崩れた。中型船の穀物輸送は、中国に於ける豚コレラの大流行で飼料輸入が減少、全般的な穀物輸送は弱含みで推移。

# 2019年下期展望

- ◆ コンテナ輸送は、南米東岸航路の需給バランスは引き続きタイトに推移すると見込まれる。
- ◆ 完成車輸送は、亜国経済回復の足取りは重く引続き厳しい状況が続く。輸送需要は昨年を下回る見込み。
- ◆ ドライバル輸送は、中国向け需要回復を中心に資源 穀物輸送量増による市況の緩やかな回復に期待。
- ◆ 2020年1月より一般海域での硫酸化物排出規制強化(世界規模)。対応に伴う燃料費上昇とコストシェア。



## 2019年上期回顧



●第1四半期 航空旅客需要 \*注:ブラジル民間航空庁データ(ブラジル航空社のみデータ)

対2018年	有効旅客キロ	有効座席キロ	座席利用率	搭乗旅客数
国内線	+4.3%	+3.4%	82.6%(+0.9%)	2,400万人(+100万人)
国際線	+10.7%	+13.1%	81.8%(-1.8%)	240万人(+10万人)*注

ただ実際 現場で起きていることは..

<国際線の更なる単価下落、国内線の更なる高騰>

区間	距離	価格
例)国内線...サンパウロ⇒マナウス	2,690km	\$ 1,200 混雑時)
国際線...サンパウロ⇒東京	18,560km	\$ 1,200~\$ 1,600

どうして距離が約7倍なのに同じ値段になるのか? そこは南米特有の構造的問題の存在が..

- コスト 毎年CPIに連動してUP
  - 運賃 国際線は競争にさらされるため上げられない
  - サービス 燃料UP分は、機材費やお客様のサービス等からカットするしかない
- アビオンが退場により国内座席減で混雑、競争ない路線は価格を吊り上げてコストUPを吸収する傾向

## 2019年下期展望

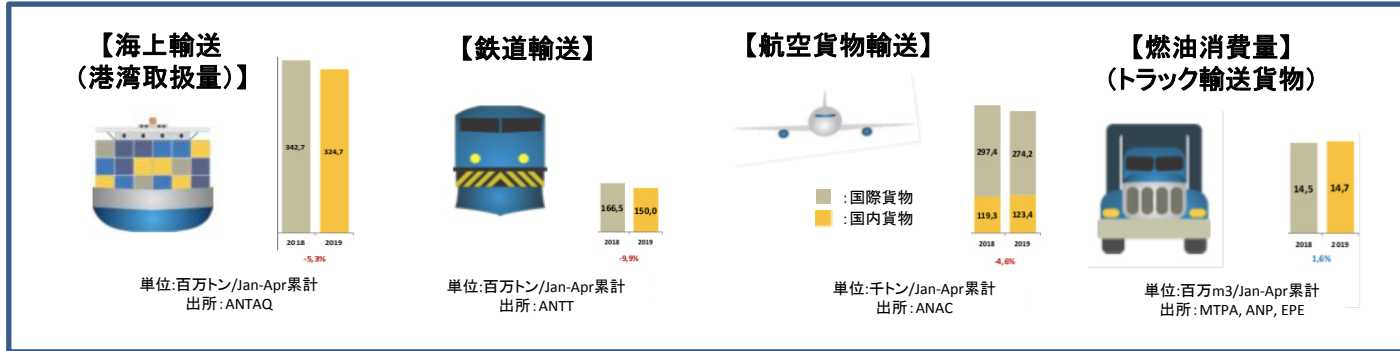
<コードシェア現象>

- 日系航空会社の運航便を、現地航空会社がコードシェア便名を付して比較的安く販売
- しかしそれに伴う障害も発生、毎日裏でトラブル回避の以下作業をしているが他社便名ではカバーできない
- ◆LTM:旅行者・者からは指定できない座席有→JLから毎回指定 ◆フライトイレギュラー時の旅客放置
- ◆乗継荷物に入荷発生(週1-2件程度) ⇒これらは他社便名の場合には情報が入らず対処できなくなる

<内外の環境変化にどう対応するか>

- ★日本品質のサービスを地道に実施
- ★現地カード使用でのJAL航空券交換制度の開発
- ★運賃分割払いの推進

## 【2019年上期回顧】



- ☆ 全ての輸送モードで取扱量は低調に推移（対前年）
- ☆ 税関等政府機関のストライキによる物流停滞はなし
- ☆ 昨年同様のトラック運転手のストライキは回避
- ☆ 経済回復進展なく、航空業界、海運業界、輸出入とも輸送キャパの余剰あり
- ☆ 国内輸送のモーダルシフト進展=>トラックから内航船へシフト
- ☆ ISPM15で規程された木製パレット熱処理及び燻蒸処理スタンプ不鮮明による貨物滞留
- ☆ サンパウロ市内の橋梁の破損、メンテナンスにより市内物流に影響

## 【2019年下期展望】

- ☆ 物流も米中貿易摩擦の影響大きく注視が必要
- ☆ 中東情勢で原油価格が左右され、航空、海上、陸上輸送の燃油費にインパクト
- ☆ トラック運転手の待遇改善
- ☆ 税関システム（DU-IMP）導入見込み
- ☆ 通関、貿易関係の各法令の見直し、手続き簡略化への動きに期待
- ☆ 海上輸送：MARPOL条約改正による船舶燃料の硫黄濃度規制強化
- ☆ 空港、港湾、道路インフラ整備促進

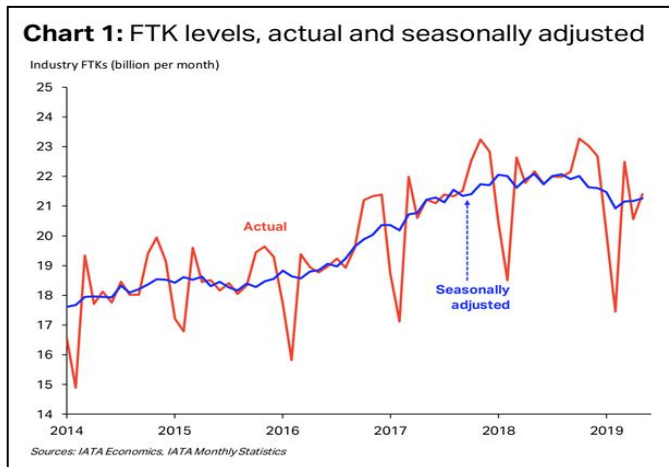
“ Não há país desenvolvido  
 sem uma infraestrutura  
 de transporte efetiva ”  
 Tarcísio Gomes de Freitas

引用：インフラ省大臣  
 Tarcísio Gomes de Freitas

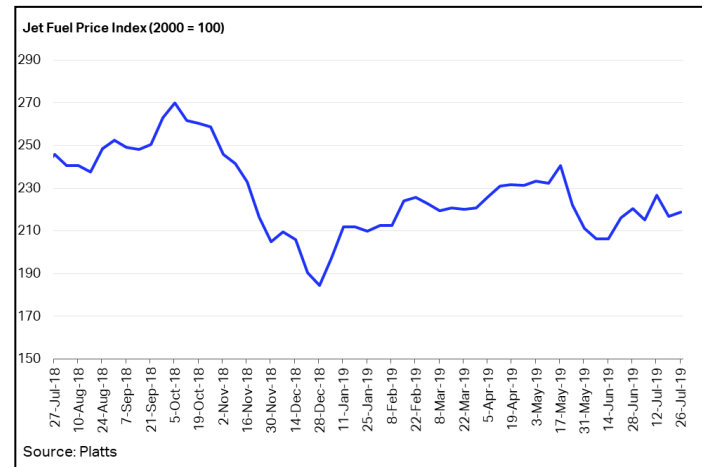
## 【2019年上期回顧】

- ☆世界の動向：主要地域中心に荷動き鈍化。年初3.5%伸張予測も0.0%に下方修正  
アジア太平洋間レーンの停滞が主要因も他地域の動きも鈍い
- ☆南米の動向：この地域の政治的及び経済的な不確実性にも関わらず好調、対前同1.3%増
- ☆ブラジルの動向：-全体として対前同約0.65%のプラス（2018/6-2019/5前期比）  
欧州向け好調、北米向け低迷  
-コロンビア向け大幅伸張、アルゼンチン向けは前同並を維持  
-航空運賃の値上げ要素なし  
-燃油費安定

【FTK(輸送量)実績&季節調整済】



【JET燃料価格Index(2018/7-2019/7)】



## 【2019年下期展望】

- ☆航空貨物需要の伸張が不透明
- ☆米国と中国の貿易摩擦を背景にサプライチェーン見直し
- ☆米中貿易摩擦によるブラジル-中国間の荷動き動向
- ☆中東情勢に伴うJET燃料の動向
- ☆IMO2020の規制導入の圧力を受けた航空機燃料上昇の可能性
- ☆税関システム（DU-IMP）導入が航空貨物需要に与える影響は限定的

# 旅行業界

## 2019年上期回顧

- 国内線発券枚数：+8,8% 売上額：+11,3%
- 国際線発券枚数：-0,57% 売上額：-4%
- AVIANCA BRASIL航空破綻により国内線航空運賃が値上がり
- 日本からの旅行者の推移(人):
- 誇張ニュースによる悪影響

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
87225	84636	70102	79754	60342	63708

## 2019年下期展望

- 社会保険制度改革案可決への期待
- ラグビーワールドカップ in ジャパン
- 東京オリンピックのチケット販売開始  
<http://match-hospitality.com/tokyo2020/brasil/pt/home/>
- 100%外資の航空会社参入
- 旅行代理店間の競争がさらに激化の様相

## トピックス

- RNMではJRパス購入不可
- 航空機搭乗の際の受託荷物の有料化